

## 貸借対照表

(2022年6月30日 現在)

(単位 円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,382,167,547	流動負債	852,933,235
現金及び預金	952,608,745	買掛金	29,155,112
売掛金	305,740,158	リース債務	350,728
契約債権	6,647,999	未払金	178,178,248
仕掛品	5,295,955	前受金	2,086,538
前払費用	105,389,888	未払法人税等	45,779,900
前払金	5,596,910	未払消費税等	68,602,904
未収入金	586,328	未払費用	33,787,598
立替金	301,564	預り金	28,644,803
固定資産	203,068,054	前受収益	312,801,188
有形固定資産	65,174,052	賞与引当金	105,924,546
建物附属設備	54,224,805	役員賞与引当金	47,621,670
減価償却累計額	△ 8,682,531	固定負債	25,966,647
工具、器具及び備品	75,474,847	長期報酬債務	12,056,169
減価償却累計額	△ 55,843,069	リース債務	82,387
無形固定資産	27,329,646	資産除去債務	13,828,091
ソフトウェア	27,329,646	負債合計	878,899,882
投資その他の資産	110,564,356	(純資産の部)	
敷金保証金	29,901,408	株主資本	706,335,719
長期前払費用	1,542,603	資本金	100,000,000
繰延税金資産	79,120,345	資本剰余金	100,000,000
		資本準備金	100,000,000
		利益剰余金	506,335,719
		その他利益剰余金	506,335,719
		繰越利益剰余金	506,335,719
		純資産合計	706,335,719
資産合計	1,585,235,601	負債純資産合計	1,585,235,601

## 個別注記表

### (重要な会計方針に係る事項)

#### 1. 資産の評価基準及び評価方法

##### (1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ① 仕掛品 個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産

（リース資産を除く）

工具、器具及び備品は定率法、  
建物附属設備については、定額法を採用しております。  
（主たる耐用年数）

建物附属設備 10年

工具、器具及び備品 3年から15年

##### (2) 無形固定資産

（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

（主たる耐用年数）

自社利用のソフトウェア 5年

##### (3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

#### 3. 引当金の計上基準

##### (1) 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。  
なお、当事業年度末の貸倒引当金の残高はありません。

##### (2) 受注損失引当金

受注契約に係る案件のうち、当事業年度末時点で将来の損失が見込まれ、かつ当該損失額を合理的に見積ることが可能なものについて、将来の損失に備えるため、その損失見込額を計上しております。

なお、当事業年度末の受注損失引当金の残高はありません。

##### (3) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与に備えるため、支給見込額に基づき当事業年度負担額を計上しております。

##### (4) 役員賞与引当金

役員に対して支給する賞与に備えるため、支給見込額に基づき当事業年度負担額を計上しております。

#### 4. 収益及び費用の計上基準

当社は、連結決算に関わるソリューションを、お客様の経営意思決定、業務効率改善やガバナンスの高度化に資する専門性を要するアウトソーシングサービスとして提供しており、履行義務の

内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

- (1) 進捗部分について成果の確実性が認められる連結会計システム等導入支援に係る収益認識  
一定の期間にわたり履行義務が充足されると判断し、履行義務の充足に係る進捗度に基づき収益を認識しております。進捗度の測定は、達成した成果の見積りに対する会計年度末までの実際の発生工数の割合に基づいて行っております
- (2) その他の契約に係る収益認識

財又はサービスが顧客に検収された時点において顧客が当該製品に対する支配を獲得し、履行義務が充足されると判断していることから、財又はサービスが顧客に検収された時点で収益を認識しております。

なお、財又はサービスの販売のうち、当社が代理人に該当すると判断したものについては、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識しております。

## 5. その他計算書類作成のための基本となる事項

- (1) 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。
- (2) 連結納税制度の適用 株式会社アバントを連結親法人とする連結納税制度を適用しております。帰属する未払連結法人税は親会社に対する「未払金」に計上しています。貸借対照表「未払法人税等」内訳は、未払住民税と未払事業税であります。

### (会計方針の変更に関する注記)

「収益認識に関する会計基準」の適用

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識基準第 84 項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当事業年度より新たな会計方針を適用しております。この結果、従来の方法と比べて、当事業年度の売上高が 8,134 千円減少しております。なお、営業利益、経常利益、税引き前当期純利益に与える影響額は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響額はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、貸借対照表上の流動資産に「契約債権」を表示することといたしました。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

1. 計算書類に計上した金額

繰延税金資産 当事業年度 79,120,345 円

2. 会計上の見積り内容について計算書類利用者の理解に資するその他の情報

将来減算一時差異等に対して、将来の収益力に基づく課税所得に基づき、繰延税金資産の回収可能性を判断しております。課税所得の見積りは、将来の事業計画を基礎としております。課税所得の見積りの基礎となる事業計画における主要な仮定は、見積りの不確実性が高く、繰延税金資産の回収可能性の判断に重要な影響を与える可能性があります。

(貸借対照表に関する注記)

関係会社に対する金銭債権及び債務

短期金銭債権 53,297,957 円  
短期金銭債務 137,707,425 円  
長期金銭債務 12,056,169 円

(損益計算書に関する注記)

1. 関係会社との取引高

営業取引による取引高 809,624,951 円

2. 研究開発費の内訳

給与手当	31,437,965 円
賞与	7,386,613 円
従業員賞与繰入	2,843,696 円
法定福利費	4,868,872 円
賞与法定福利費	1,155,750 円
備品ソフト費	2,787,515 円
消耗品費	16,600 円
備品ソフト費-GA	3,272 円
人材採用費	7,916,000 円
新聞図書費	54,720 円
通信費	5,203 円
通勤手当	913,672 円
研究開発費 計	59,389,878 円

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当事業年度末の発行済株式の種類及び総数

普通株式 4,000 株

2. 自己株式の数に関する事項

普通株式 一株

3. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額(円)	基準日	効力発生日
2021年8月20日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	368,129,158	2021年6月30日	2021年8月23日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生が翌期になるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額(円)	基準日	効力発生日
2022年9月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	486,335,719	2022年6月30日	2022年9月28日

(税効果会計に関する注記)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

未払事業税	12,694,221 円
未払事業所税	1,545,790 円
賞与引当金	36,649,893 円
役員賞与引当金	16,477,098 円
株式報酬費用	2,645,241 円
減価償却費損金算入限度超過額	9,108,102 円
繰延税金資産 計	<u>79,120,345 円</u>

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異原因となった主な項目別の内訳

法定実効税率	34.60%
(調整)	
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.01%
役員賞与	△1.75%
前期確定申告修正	0.48%
住民税均等割	0.07%
税額控除	△7.01%
その他	△0.04%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	<u>26.37%</u>

(関連当事者との取引に関する注記)

親会社

(単位：円)

会社等の名称	議決権等の所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
株式会社アバント (東京証券取引所 プライム市場)	直接 100%	経営管理及び事務委託 経理業務の受託 役員の兼任	経営管理料	57,012,000	未払金	137,309,497
			設備利用料	8,556,000		
			業務受託料	49,176,000		
C備品ソト費	21,040,000					
備品ソト費	3,363,100					
C通信費	41,800					
通信費	8,200					
修繕保守費	240,000					
			法人税・地方法人税 連結納税	116,784,003	売掛金 未収入金	8,022,080
			経理業務の受託	88,886,000		250,000

取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 設備利用料は、総原価を基準として決定しております。  
 2. 経営管理料は、固定分として 57,012,000 円を支払っております。  
 3. 経理業務の受託の取引条件は、発生コスト等を勘案の上、適正に決定しております。

兄弟会社

(単位：円)

会社等の名称	議決権等の 所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
株式会社ディーバ	-	販売先	ライセンス保守	566,475,217	売掛金	45,001,858
		仕入先			前受収益	242,932,978
		役員の兼任	仕入高	13,226,634	前払費用	7,664,986

取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(1株当たり情報に関する注記)

1. 1株当たり純資産額 176,583円93銭  
 2. 1株当たり当期純利益 121,583円93銭

(収益認識に関する注記)

1. 収益の分解情報

(単位：千円)

	当事業年度
一時点で移転される財又はサービス	0
一定期間にわたり移転される財又はサービス	5,670,221
	5,670,221

2. 収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項」の「4. 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

3. 当事業年度及び翌事業年度以降の収益の金額を理解するための情報

契約負債は主に、サービスの検収前に顧客から受け取った対価であります。貸借対照表上、流動負債の「前受金」及び「前受収益」に含まれており、当事業年度期首契約負債は、283,575千円、当事業年度末現在の契約負債は、314,887千円であります。当連結会計年度に認識された収益の額のうち期首現在の契約負債残高に含まれていた額は、283,575千円です。なお、当事業年度において、過去の期間に充足した履行義務から認識した収益の額には重要性はありません。

### (重要な後発事象に関する注記)

当社は、2022年7月15日開催の取締役会において、2022年10月1日を効力発生日として、株式会社ディーバの『連結決算支援システム（主な製品ブランド「DivaSystem LCA」および「DivaSystem FBX」）の開発事業』を承継する吸収分割契約を締結することを決議しております。

#### (1) 取引の概要

① 承継する事業の名称

連結決算支援システムの開発事業

② 企業結合日

2022年10月1日

③ 企業結合の法的形式

当社を承継会社、株式会社ディーバを分割会社とする吸収分割

④ 結合後企業の名称

当社株式会社フィエルテは2022年10月1日付で株式会社ディーバに、分割会社の株式会社ディーバは株式会社アバントに、親会社である株式会社アバントは株式会社アバントグループに商号変更予定となっております。

⑤ その他取引の概要に関する事項

当社が提供する連結決算のアウトソーシングと株式会社ディーバの連結決算支援システムの開発を集約することで、グループとしてお客様により適したソリューションを提供し、効率的なシステム導入が可能となる体制を整え、グループ各社の特性を活かしたグループシナジーを実現していくことを目的としております。

### (その他の注記)

記載金額は単位未満を切捨てて表示しております。